

FORUM 8
F8VPS
FORUM8
バーチャル
プラットフォーム
システム
新TVCM放送中!

映像新聞

令和4年(2022年) 4月25日 第2525号

株式会社 映像新聞社
112-0006 東京都文京区小日向
1丁目24番8号エインビル
電話 (03) 3942-2161 (代表)
ファックス (03) 3942-2581
毎週月曜日発行(月4回発行)
昭和42年1月25日 第3種郵便物認可
1部660円、年間購読料28,600円(税込)
Visual Communications Journal ©映像新聞社



NABSHOW 特集
Where Content Comes to Life
米ラスベガスで開催 各社の出展概要 6-13面



最新の製品・技術が一堂に会する (NABショー-2019より)

機器展示には、初出展の約160社を含む90社以上が出展する。コンテンツ制作全般を意味する「クリエイティブ」のエリアは、セントラル・朋栄、池上通信機、キャ

全米放送事業者協会(NAB)エヌエービー)が主催する世界最大の放送・電子メディアの総合展「NABショー2022」が米ラスベガスのラスベガスコンベンションセンター(LVCC)で4月23-27日の会期で開催されている。コロナ禍で3年ぶりのリアル開催となる今回は、「クリエイティブ」「コネクティブ」「キャピタライズ」の大きく3つのテーマを軸に展示、カンファレンスが展開される。IP、クラウド、リモート、ストリーミングといった放送業界の注目テーマがどう総括されるのかが焦点だ。次世代地上波テレビ放送規格「ATSC3.0」の展示、カンファレンスも拡充している。

「制作」「配信」「収益化」3テーマ軸に展示・カンファレンス

NABショー-2022

ノン、富士フィルム、グーグル、ARRI、リアルタイムコミュニケーションズ、イマジンコミュニケーションズ(セントラルホール)、ブラックマジックデザイン、アドビシステムズ、EVS、LiveU、Vizrtグループ(フリースホール)など、放送業界の主力企業が出展している。

最新のライブ番組制作を体感 IP機器の相互運用性も進化

同エリアでは、IP、クラウド、5G技術を駆使した最新のライブ番組制作ワークフロー、スマートスタジオ、リモート制作の動向が注目点。セントラルホールのクリエイティブゾーンには「パナソニック」が設けられ、最適化されたワークフローが体験できる。「コネクティブ」はコンテンツ配信系の展示で、新設されたウエストホールで展開される。アマゾンウェブサービス、マイクロソフト、ヘライゾン、AT&Tなどが、リアルタイムコンテンツ配信の最新ソリューションをデモする。

マスターを含めた放送設備のIP化、クラウド化、中継網、番組制作における5Gの利用、5Gクラウドによるリアルタイム配信ソリューション、新たな映像圧縮方式「VVC」のコーデック、AI活用によるUX(ユーザーエクスペリエンス)の向上、などが焦点になる。

「キャピタライズ」はデジタル技術によるコンテンツビジネスの市場開拓、収益化がテーマで、エバーETT、デル、プロ

映像新聞 ブースNo. C2127

本号の主な記事
[プロダクション]
東映トークン研究所が俳優・松田優作氏をAIで復活/現代の作品への登場を目指す 2
[大型映像]
科学未来館「ドームシアター」6年ぶりの新作公開 15

映像新聞ウェブサイト
<http://www.eizoshimbun.com>
購読のお申し込みはこちら

緊急報道・災害・海外・派遣・インフラ構築
「ビジネスバッグにも収納可能な驚愕のアンテナ！」

SATCUBE

＜サットキューブ社 SATCUBEアンテナ＞

- 災害・報道・海外派遣での映像音声・ネット伝送
- 驚愕の超小型平面アンテナ (47cm X 30cm X 5.5cm)
- ノートPCサイズ・超軽量約8kg (機内持ち込み可)
- わずか1分で通信準備可能 (誰でも簡単に衛星補足・組立不要)
- 15Mbps 広帯域映像伝送可能 (高いボタンスループ)
- 航空機持ち込可能なバッテリーで運用可能。
- 運用中のバッテリー交換可能 (ホットスワップ対応)
- カメラバッテリーを運用できる特注電源オプションあります。
- モバイル中継装置 (Live U・TVU等) と連携可

エーティコミュニケーションズ株式会社
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14
TEL:03-5772-9125 <http://www.bizsat.jp>

●お知らせ
映像新聞は月4回発行のため、5月は9日、16日、23日、30日が発行日となり、2日の発行はありません。次号は5月9日号になります。

THIRDWAVE Pro Dospara plus

ビジネス向けPC「THIRDWAVE Pro」に
Illustrator、PhotoshopなどAdobe製品の
1年サブスクリプション同時購入モデル
登場!

同時購入モデルには当社推奨スペックモデルを選定!

株式会社サードウェーブ 法人営業統括本部
電話受付時間 03-5294-2041
平日9時~18時 sales_hq@twave.co.jp https://www.dospara.co.jp/plus/software/adobe_cc/desktoppc_set/



AOI Pro.が本格化 撮影現場の環境保全活動 SDGsページも開設

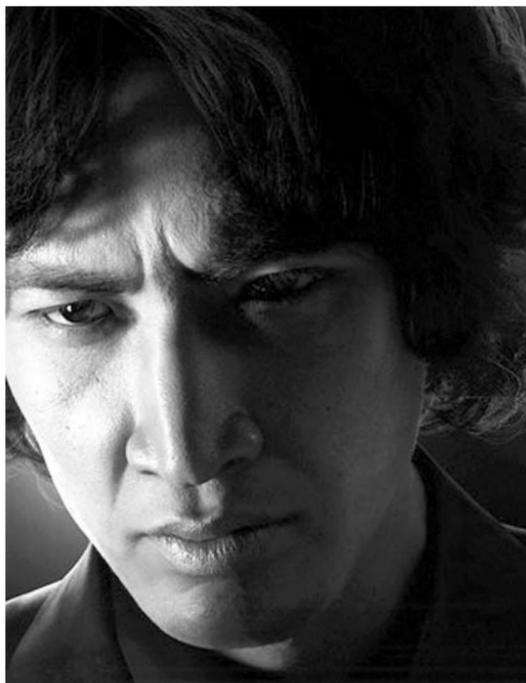
AOI Pro.は、年間約1000本の広告映像を制作している。同社はこのなかで無駄を減らして資源を循環させるため、撮影現場における環境保全の取り組みを本格化した。

グループ会社TRERE Digital Studioと連携し、ゴミの分別・資源のリサイクルや不要となった備品の再利用を加速させるほか、横浜環境保全と契約し、撮影時の食事の生ゴミを堆肥化させている。

3月に実施した撮影では「プラスチックゴミ排出量ゼロ」を目標に、感染対策をしたうえでエコ容器入りのお弁当やシャワーケースに入れてお菓子を利用。ドリンクディスプレイなどの導入でペーパーなどの導入でペーパー削減した。

地方創生や映像教育、動き方の多様化に関するプロジェクトや、コンテンツ制作を通じた社会貢献を紹介するウェブサイトを「AOI SDGsページ」も開設している。

東映ツークン研究所 俳優・松田優作氏をAIで復活 現代の作品への登場を目指す



松田優作氏をデジタルヒューマンとして蘇らせている
©東映ツークン研究所

東映ツークン研究所(東京都練馬区)は、新たな映像表現を目指して過去の偉人をデジタルヒューマン技術でよみがえらせる取り組みをしている。今回は1989年に逝去した俳優・松田優作氏の復活に挑戦。従来のデジタルアーチストによる再現に加え、AIによる形状復元および音声復元などの技術を掛け合わせることで、デジタルヒューマン化を進めている。

同所は「コンテンツの掛けきた。デジタルヒューマンをデザインする」と、ユーマンはその一つであり、2017年に専門チームを編成したのち19年の企画、制作、開発を手から研究開発プロジェクトを進めてきた。

AIによる形状復元と従来のコンテンツ制作で蓄積したノウハウを組み合わせているのが特徴だ。形状復元では、同社が運用するスキャンシステム「Light Stage」で取得した高精細の3DCGデータをもとに、機械学習で顔モデルを生成する。データは、最新の取り組みが松田優作氏となる。

AI復元と従来技術を組み合わせ

AIの結果は同時に「AIの結果は学習データ次第。高品質なデータを作るためには多くの高品質なデータが必要だが、これを集める作業が一番難しい。そこで当社がLight Stageで収集している」と説明する。

AIやCG技術による人物の復元については、「不気味の谷」(ロボットやCGの姿が高度に人間の姿に近づいたとき、見る者の中に唐突に否定的な感情が現れる現象)の存在が指摘されており、これに対応するための研究が続けられている。

美濃氏は「技術は」まだ合格点には達していないが、地道に前へと進んでいると確信している。デジタルヒューマンの活用は、多様化するメディアの中でもっと増える」と予測している。その中で最終的に皆が納得できるものをつくっていきたい」と話している。

20-30代を中心とした日本人の成人男性100人分のその後、松田氏の過去の正面写真から形状を推定し復元させる。

Light Stageは一彦主席ディレクターは「AIを活用する恩恵は予算面、期間の短縮、品質の向上と均一化などさまざまな条件で撮影することで、人物の肌の質感まで情報を得ることが可能。南カリフォルニア大学(USC)の研究施設ICTが開発したも

技術を使って松田氏の本人の成人男性100人分のその後、松田氏の過去の正面写真から形状を推定し復元させる。

ツークン研究所の美濃氏は「AIを活用する恩恵は予算面、期間の短縮、品質の向上と均一化などさまざまな条件で撮影することで、人物の肌の質感まで情報を得ることが可能。南カリフォルニア大学(USC)の研究施設ICTが開発したも

AI音声モデルを作成している。

音声復元と音声部分の総合ディレクションをするのは、ゲームの3DCG制作から音声合成・声質変換ソリューションまで手掛けるORIONDA(東京都港区)。名古屋大学発ベンチャーであるTARVO(名古屋市中千種区)が開発したAI音声変換モデル「Sura」技術を活用している。

現在ではデモ動画となる

AI音声モデルを作成している。

音声復元と音声部分の総合ディレクションをするのは、ゲームの3DCG制作から音声合成・声質変換ソリューションまで手掛けるORIONDA(東京都港区)。名古屋大学発ベンチャーであるTARVO(名古屋市中千種区)が開発したAI音声変換モデル「Sura」技術を活用している。

オーディオストック 「必殺」シリーズの劇伴を提供 90曲を番組制作で利用可能

ストックミュージックサービス「Audios」は、対象となるのは第1弾「必殺仕掛人」と第2弾の「必殺仕置人」で、楽原盤のテレビ・ラジオ放送利用を促進するサービス「Audios Artists」(以下、オーディオストック)は、オーディオストックの提供を開始。同シリーズは松竹音楽出版、朝日放送テレビ、朝日放送グループで音楽出版をするABCフロンティアの3社が運用する。番組制作業務を効率化できる。ABCフロンティアが保有する朝日放送テレビの有名番組の劇伴は今後随時追加される。なおオーディオストックは、オーディオストックとスペースシャワーネットワークが共同で運営している。



「必殺」シリーズの90曲が番組で利用可能に

オーディオストックは、オーディオストックの提供を開始。同シリーズは松竹音楽出版、朝日放送テレビ、朝日放送グループで音楽出版をするABCフロンティアの3社が運用する。番組制作業務を効率化できる。ABCフロンティアが保有する朝日放送テレビの有名番組の劇伴は今後随時追加される。なおオーディオストックは、オーディオストックとスペースシャワーネットワークが共同で運営している。

コンパクトルーティングスイッチャ

gen3232-12G-CP ・ gen3232-3G-CP ・ gen3232-AES-CP

コントロールパネル着脱可能。最大16台のコントロールパネル接続可能。
全クロスポイントブランキング切替。4/10/16分割マルチビューモニタリング出力。
12G、3Gにカラーバー出力。AESにオシレータ出力装備。
サルボ、テイク、クロスポイントインヒビット、ソース/デスト インヒビット、パネルロック。
Webサーバー内蔵。ブラウザによる設定・制御・ステータス表示が可能。
SNMPによるリモート監視・制御。プログラマブルなGPI/GPO機能装備。
3つのEthernetポート装備。RS-232Cポートで他社コントロールパネル接続可。
完全フロントメンテナンス方式。(PAT.)
全機種リダンダント電源標準装備。

Gen・元

12G-SDI・3G-SDI・AES/EBU

リファレンス入力・全クロス ブランキング切替。
ラストメモリ機能。
サルボ、テイク、クロスポイントインヒビット、ソース/デスト インヒビット、パネルロック。
SNMPリモート監視・制御。
プログラマブルGPI/GPO機能装備。
リダンダント電源標準装備。

gen3232-12G-Plain ・ gen3232-AES-Plain

TVウェブプラットフォーム登場

NABショー-2022

放送とネットシームレスに

OTT50社の体験コーナーも

（1面から続く）

「ATSC3.0」はIP技術をベースにした次世代地上波テレビ放送規格で、放送とウェブコンテンツをシームレスに提供できる。4K HDR、ドルビーオーディオによる音声の明瞭さという特徴を持つ。

約700のセッション

ATSC3.0の「NEXTGEN TV」は米国のほか韓国、ジャマイカで始まっており、ブラジルの放送方式にも主要技術が実装される予定。米国では現在、約60の市場で放送が実施され、これまで約50%の視聴者をカバー。今年末まで82%になるとしている。

「クリエイト」「コネクト」「キャビタライズ」の3トラックに分けられた主催者セッションにおいて、約700のセッションが予定されている。

「コネクト」には未来の没入型の映画や大画面SF映画など、「キャビタライズ」には、広告主として開催され、72のセッションが置かれた。今

回はテーマ別に分けられていないが、これは論文を見つけたらというもので、90分間のコンペティションスタイルで9つのイベントが実施される。

「コネクト」には未来の没入型の映画や大画面SF映画など、「キャビタライズ」には、広告主として開催され、72のセッションが置かれた。今

回をテーマ別に分けられていないが、これは論文を見つけたらというもので、90分間のコンペティションスタイルで9つのイベントが実施される。

番組撮影でDクーポン

総額1000万円キャンペーン

GW期間中「Check-In TV」活用



千鳥がキャンペーンキャラクターを務める

フジテレビは、ゴールデンウィーク（GW）期間中の4月29日～5月8日に、総額1000万円分のデジタルクーポンが当たるキャンペーン「10 in 10」を実施する。GW10日間、対象番組をリアルタイムで視聴し、番組放送中にスマホでテレビ画面を撮影することで、総額1000万円のデジタルクーポンが当たるスクラッチゲーム「10 in 10」が実施される。

スクラッチくじで「当たり」が出た場合はQUOカードPay1000円分をその場でゲット（当選者は計5000人）。1番組につき最大3回のチャレンジ参加が可能。「はずれ」が出た場合は「10 in 10」に参加できる。

応募できる（当選者は計500人、当選者のみ後日メールで連絡）。対象番組を視聴すればするほど、対象番組を視聴し、番組放送中にスマホでテレビ画面を撮影することで、総額1000万円のデジタルクーポンが当たるスクラッチゲーム「10 in 10」が実施される。

リモートプロダクションサービス KISWESTUDIO

運用・出演・配信まですべてをリモートで！

5月末迄の25%OFFキャンペーン開催中！

詳しくはお問合せください。

- 主な KISWE スタジオ機能
 - ・複数のSRT/RTMP
 - ・ストリーム入力に対応
 - ・レイアウト切替機能
 - ・オーディオミキサー機能
 - ・グラフィック挿入
 - ・配信時のトランスコーディング
 - ・1時間単位での使用が可能
 - ・容易な解説者映像実況音声の挿入

三信電気株式会社 ソリューション営業本部 映像システム営業部
〒108-8404 東京都港区芝4-4-12 Tel: 03-5484-7270 / E-mail: eizo-info@sanshin.co.jp
http://www.sanshin.co.jp/business/solution/vd

EXA INTERNATIONAL 赤坂 3Dバーチャルライブ配信スタジオ

常設4台のカメラと3DCG運動によるリアルタイム合成でのライブ配信・収録が可能です。お気軽に見学のご相談、お問い合わせください。

Brainstorm × Unreal Engine システム 絶賛稼働!

- 表彰式セミナー
- 試写会イベント
- 音楽ライブ
- eSPORTS

Point

- ☑ 4カメラ運動 × 3Dバーチャル合成
- ☑ 実用的な3DCGセットを約200種類ご用意
- ☑ スタジオ専用光回線（3回線）常設（NTT/NURO）
- ☑ 控え室7部屋完備

株式会社 エクサイインターナショナル
〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目16番9号 TEL: 03-5575-3911
URL: www.exa-int.co.jp Mail: info@exa-int.co.jp



SSLが発表 2chのアナログバスコンプレッサー 4つのモードと豊富な機能を搭載

ソリッド・ステート・ロジック(SSL)は2chのアナログバスコンプレッサー「THE BUS+」を発表した。2chバスコンプレッサーとダイナミックイコライザーを搭載したアウトボンドで、4つの動作モードと多彩な機能を備え多くの用途に対応する。34万6500円。

SSLのコンソールに長年利用されてきたアナログプロセッサ「Bus Compressor」をもとにした製品で、

三友

「ピクソトープ」取り扱いを開始 リアルタイムのバーチャル製品



Pixotopeの利用イメージ

三友は、リアルタイム3DバーチャルスタジオやXRウォールなどのシステムを展開。三友は同社の技術パートナーであるカティンチェと連携して販売する。

ピクソトープは、ライブコンテンツのARやオンラインアクティビティをリアルタイムで迅速に作成するソフトウェアベースのソリューション。

エピックゲームズの Unreal Engine 5上に構築され、リアルタイムにフォトリアリスティックなレンダリングをすることで放送やライブイベントの演出を支援する。

制作システムをメディアリンクス、セイコーソリューションズと展示 IP環境の構築で各社と協業

朋栄とMedia Links, Inc.、セイコーソリューションズは、4月27日まで米国ラスベガスで開催されている「NABショー2022」の3社は、海外市場におけるエンドトウエンドのIP制作ソリューションの構築で協業する。19日に3社が合意したことが発表された。

伝送はAMMUXと協力

AMMUXのIP技術はソフトウェアベースの環境にシームレスに接続する。AMMUXのIP技術はソフトウェアベースの環境にシームレスに接続する。

AMMUXのIP技術はソフトウェアベースの環境にシームレスに接続する。

朋栄、NTT西日本など5社 遠隔編集サービスに向け協力 番組制作の働き方改革に向け

NTTビジネスソリューションズとNTT西日本、NTTスマートコネクティブ、メディアリンクス、朋栄の5社は、放送局・番組制作会社向けの「遠隔編集サービス」提供に協業する。

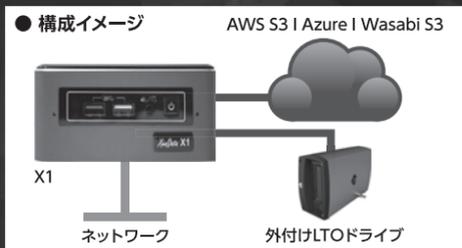
XenData

Cache-A TARテープの読み出しに対応 LTO/ODA/Cloudアプライアンス X1

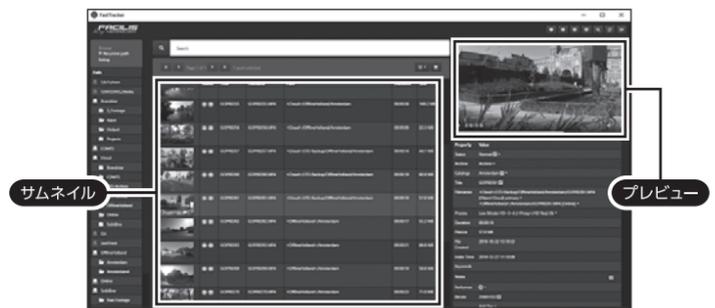


XenDataキャッシュ、ソフトウェア、同期・検索ツールを標準装備

- アーカイブ先にLTO/ODA/Cloud選択可能
- LTFS/TARによる記録に対応
- VESAマウント可能なコンパクトボディ
- スケジュール機能搭載



Facilis FastTracker!によるアセット管理 (オプション)



NABSHOW
Where Content Comes to Life

出展概要

1

IPやクラウド技術の活用提案

ソニー

【ブースNo.C10901】

最新のイメージング商品群、リモートや分散での映像制作とワークフローの効率化を支えるIPやクラウド技術を活用したソリューションなどを展示する。

イメージング商品群としては、昨年秋に発表したデジタルシネマカメラ「VENICE2」や、マルチフォーマットポータブルカメラ「HDC-F5500」をはじめとした商品をそろえる。

また、4月7日に発表した、MIシュー デジタルインタフェース接続に対応した2波受

信対応ポータブルダイバーシティーチューナー「URX-P41D」も展示予定。同製品は、別売りのMIシューアダプター「SMAD-P5」およびソニー製XDCAM カムコーダーやCinema Lineカメラ「FX9/



デジタルシネマカメラ「VENICE2」

リーダー電子

【ブースNo.C6118】

2019年にグループ会社となったPHABRIX社と初めて共同出展する。ブースは「LEADERゾーン」と「PHABRIXゾーン」で構成し、最新の測定・監視技術を披露する。

展示の主要テーマは、「SDIからIPへの円滑な移行」。過渡期におけるSDIからIP、HDから4K UHD、SDRからHDRなど、混在したシステムを効果的に運用するテクノロジーをデモする。

【LEADERゾーン】

波形モニター「LV5600」/ラストライザー「LV7600」は、SDI、IP、NMOS IP信号を同時にモニターリングし作業効率を向上する。

シンクジェネレーター「LT461

0」は、ブラックバーストやPTPシンクの問題を解決する方法と、ライブプロダクションから伝送まで信頼できるタイミングを確保するのに必要なツールを訴求。

IPパケット監視装置「LVB440」は、大規模放送施設やリモートプロダクションで、同時に多数の高ビットレートIP信号を監視する。

【PHABRIXゾーン】

Qxシリーズは、1Uハーフラックの小型製品ながら、高機能で多機能な4K対応IP/SDIハイブリッドラスタライザー。NMOS対応を強化し、パケットキャプチャーツールを新たに搭載した。

Sxシリーズは、ハンドヘルド型計測器。IP対応の「Sx TAG」やアイパターンを測定できる「Sx E」をそろえている

「NAB (エヌエービー) ショー2022」が23日に開幕し、24-27日にはラスベガス・コンベンションセンターで機器展示会が開催されている (いずれも現地時間)。3年ぶりのリアル会場での実施で、放送・通信技術の最新動向を探る格好の場となっている。映像制作はIP化、リモートプロダクションが進展。一方で動画配信サービスが急速に拡大している。新時代を迎える放送・通信業界に向け、各社が技術力をアピールする。

なお、「出展概要」の社名は、出展会社または日本の代理店・販売店契約会社、ブースNo.の「C」はセントラルホール、「N」はノースホール、「W」はウエストホールを示す。

FX6/FX3」およびミラーレス一眼カメラαシリーズと組み合わせると、従来のアクセサリ側(UWP側)のDA変換およびカメラ側のAD変換のプロセスを省き、ノイズが少ない高音質のデジタル音声をカメラに直接伝送して録音できる。

IPソリューションとしては、グループ会社のNevion社のメディアネットワーク用SDNコントローラー「VideoIPath」などを展示。この「VideoIPath」については、ブロードキャストコントローラー機能が追加されること

がNevion社側から発表されている。アップデートにより、「VideoIPath」にTSLタリーの生成やサルボ機能、エイリアスの設定などのブロードキャストコントローラー機能が追加される。

クラウドソリューションとしては、昨年9月に発表したカメラ連携クラウドサービス「C3 Portal」をはじめ、クラウドを活用し制作から公開、アーカイブまでの効率的なメディア管理・運用を実現する統合プラットフォーム「Ciメディアクラウドサービス」などを披露する。

ライブプロダクション技術を実演

グラスバレー

【ブースNo.C2107】

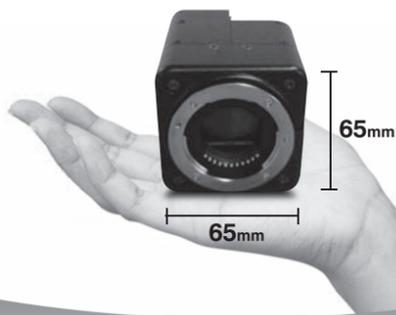
グラスバレー(GV)は、メディア・エンターテインメントの未来へ向け、IP、ソフトウェア、クラウドの技術を通じて、どのように業界をリードしているかを示す。

映像コンテンツをGVのカメラで収録し、GV AMPP (Agile Media Processing Platform) でアセットマネジメント・編集・プレイアウトまで、GVが考える未来の制作環境の旅を、会場で体験できるように企画した。ブース内には、GVの主要パートナー5社 (Ap

pear、EditShare、Flowics、Haivision、Telos Alliance) のポッドを設置し、AMPPと統合して完全なビデオワークフローを実現するサードパーティーツールについて説明する。

主な出展製品は、高性能プロダクションカメラ「LDX150・LDX90」、「AMPPアプリケーション」、「AMPP Live」(リプレイ、カラーグレーディング)、「AMPP Asset Management」(インジェスト、フルワークフローエンジン、AI連携)、「AMPP Playout」(コンテンツ配信)、IPインフラ・プロセッシング「GV K-Frame、GV Orbit」など。

小型・軽量・高画質



8Kマルチパーパスカメラ NEW



コンパクトサイズで超軽量(実測340g)の8Kカメラシステムです。グローバルシャッターのカメラセンサーを搭載し、歪みの少ない映像撮影を実現しました。



アストロデザイン株式会社 事業本部(営業) 〒145-0066 東京都大田区南雲谷1-5-2 TEL:03-5734-6301 大阪営業所 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-18-27-1010 TEL:06-6328-8558

<https://www.astrodesign.co.jp>

3G-SDI/ HD-SDI/ SD-SDI/ HDMI/ Composit Video
Component Video/ AES/ Audio Meter

SDI ミニコンバータ シリーズ

DMON マルチビューワー

オーディオメータ監視付き、低価格マルチビューワー
4入力~16入力までラインナップ
入力: SDI > 出力: SDI & HDMI

DMON-16S	価格¥275,000(税込)
DMON-12S	価格¥242,000(税込)
DMON-6S	価格¥107,800(税込)
DMON-4S	価格¥ 85,800(税込)
DMON-QUAD	価格¥ 52,800(税込)

HDMI / SDI 4K クロスコンバータ

12G-CROSS
価格¥85,800(税込)

4K スケーリングエンジンは、
351の入力フォーマット、
57の出力フォーマット間で、
フレームとスケーリング変換を可能にします。

ロック機能付き DC ソケット (AC アダプター付属)
ファンレス・ポータブルコンバータ

タックシステム 株式会社 IDE 事業部
東京都品川区上大崎 3-5-1 Tel: 03-3442-2955

www.tacsystem.com

NABSHOW[®] 出展概要 2

Where Content Comes to Life

自動化されたスマートスタジオ

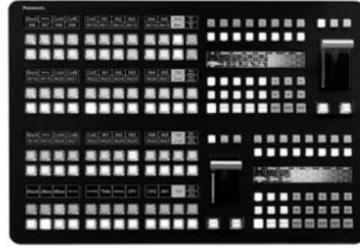
パナソニック

【ブースNo.C3607】
パナソニックは、「Connecting it all together (すべてをつなげる)」をコンセプトに、先進のライブイベント制作、自動化されたスマートスタジオ、コネクテッドコミュニケーションを支援する最新の映像技術を提案し、新しい臨場感のある没入型

の体験を創造するパナソニックのソリューションを訴求する。
リモートカメラとしては、プロユースの画質・機能を提供する、リモート会議に最適なエンタリーモデルから、独自開発の新ダイレクトドライブシステムによる優れた静音性を特徴とする、多様なイベント撮影に適したスタンダードモデルまで、新製品5機種を含む、幅広い映像制作現場のニーズに応える豊富

なラインアップを展示。
ロボティックカメラシステムでは、ドリーなど他社のロボティックシステムと同社のリモートカメラを連動させることでダイナミックなアングルでの撮影を可能にし、付加価値の高い放送品質の映像制作を提案する。

IT/IPプラットフォーム「KAIR OS」(ケイロス)は、幅広い入出



KAIROSコントロールパネルAT-KC10C2G

力に対応し、ライブ映像スイッチング向けのオープンアーキテクチャシステムを採用することで柔軟性、拡張性に優れ、GPUの許容する限り、シーン数やレイヤー数を事実上制限なく合成できることで臨場感、没入感のある演出を低遅延で実現する。

さらに、国内で2022年春サービス開始予定の「KAIRクラウドサービス」をベースにした米国向けのクラウド型映像制作システムを参考出展する。時間と場所に制約されず、柔軟で合理的な分散型の制作ワークフローを可能にする。また、2022年度第3四半期に発売予定のKAIR小型コントロールパネル「Kairos Control AT-KC10C2G」も参考出展する。

シナジー

シナジーの取り扱いメーカー各社の出展概要は以下のとおり。

◆Pomfort

オンセットデータ管理ソフトウェア「Silverstack」、撮影現場での試写用ディリー生成用にトランスコード機能をさらに強化した「Silverstack Lab」、クラウドサービス「ShotHub」、オンセットグレーディングツール「Livegrade Pro」および、マルチカメラ・マルチモニター環境やLEDウォールを併用したバーチャルセットでの撮影に対応した「Livegrade Studio」を展示する。

◆ToolsOnAir

【ブースNo.N715】
ToolsOnAir のブロードキャストスイート「just:」シリーズを出展。新たにMacベースが追加となったマルチチャンネルベースバンドインジェストシステム「j

ust:in」の新バージョン5.1、just:live プレイアウトおよびライブ番組送出サーバー「just:play」の新バージョン3.5を披露する。

◆Archiware

【ブースNo.N625】
バックアップ、アーカイブ機



ArchiwareP5 (データ管理のイメージ)

能を持つデータセキュリティ&データ管理ツール「Archiware P5」は、UIを刷新し新機能が盛り込まれる次期バージョンとなるv7を先行公開する。

◆Codemill

【ブースNo.W5411】
メディアアセット管理システム「CANTEM PORTAL」を開発するスウェーデンのCodemill社は、最新バージョンのCANTEM PORTALを展示する。

第9世代対応のUSB接続LTO

ユニテックス

【ブースNo. N7320】

大容量映像データなどのアーカイブやバックアップに最適なLTO磁気テープメディアの最新規格第9世代に対応し、同社のみが提供可能な世界唯一というLTO USB接続でノートPCをはじめとするUSB機器に接続するだけで簡単にスタートで使用できる新製品「UNITEX LT90H USB」を展示する。

従来製品からは最大容量50%アップの1877ギバイト(非圧縮、4577ギバイト圧縮時)、USB接続データ転送スピードは25%アップの300MB/sを実現し、増え続ける大容量データをストレスフリーで保存できる。例えば、DDS4テープ(40ギバイト)約1130本分、CD(700ギバイト)約2万3000枚分をLTO-9テープ1巻に保存可能。また、大容

量データの保存だけではなく、セキュリティ面ではエアギャップ(物理的にネットワークからランサムウェアの攻撃を遮断)でデータを安心・安全に守り、さらに、全企業共通課題であるデータ保存管理時のCO2排出量を



LT90H USB

大幅削減し環境負荷軽減も実現している。

合わせて同社が自社開発するメタデータ管理機能、スケジュール実行機能、フォルダー監視機能などを提供するData Management Software「UNITEX ArchiveL T」と組み合わせたデモを実施し、同社のデータアーカイブソリューションを提案する。

シリーズ累計1,100台突破!

進化を続けるキャラクタージェネレーター EzV-410登場



- ▶ 標準構成でHD 2系統、または4K 1系統のテロップ送出が可能
- ▶ スポーツコーダ、選挙ソフト、L字・速報、Twitter連携などのアプリケーションを用意



キャラクタージェネレーター EzV-410

製品紹介は
こちら▶



開催間近!

実機デモによる
ウェビナー開催!
4/27(水)



事前登録
はこちら





ランサムウェアの 手が届かない場所は、 あなたの手が届く オフィスの棚です。

The place ransomware can't reach is
the shelf in your office that you can reach.

長引くパンデミックやウクライナ侵攻など、世界中が混迷を極めている状況のなか、主に製造業界の企業を狙ったサイバー攻撃が相次いでいます。この数年はアジア圏での件数が急増、特にニューノーマルな働き方を狙ったランサムウェアやサーバー攻撃による被害が多数報告されています。このようなサイバー攻撃は、会社の存続自体に影響を与える可能性もあるため早急な対策が必要です。もちろん侵入を防ぐことが第一ですが、万が一入り込まれても重要なデータが“手の届かない場所”に保存できていれば、最悪の事態を回避することができます。つまり完全にネットワークから切り離れたところに復旧に必要なすべてのデータを保存することが、最大の防御策と言えるのです。そのソリューションとして、1巻に最大約45TBのデータを保存できる磁気テープ『LTO』が注目されています。数週間分のバックアップデータを保存したとしてもカートリッジを増やすだけで対応でき、衝撃にも強く、オフィスの棚などで保管できるため外付けHDDのように電力も使用しません。低コスト、省スペース、省エネ、CO₂削減などメリットばかりのメディアですが、サーバーとSAS接続し専門性の高い操作が必要というデメリットもあります。そこでユニテックスでは、LTOをノートPCなどUSB接続で簡単に操作できるハードウェアとソフトウェアをご用意。複雑なシステム構成は不要で、すぐにでもサイバー攻撃対策を講じることが可能です。何気なくオンライン上に置いている大切なデータが脅かされる前に、いますぐUSB-LTOでオフライン管理を。www.unitex.co.jp

————— USB接続のLTO-9ドライブを、NAB Showの会場で実際に体験していただけます! —————

ユニテックスブース：North Hall (Central Lobby)：N7320

※ 記載の会社名、商品名、ソフトウェア名は各社の商標あるいは登録商標です。 ※ 記載の内容、仕様、デザインなどは予告なく変更および終了となることがありますのでご了承ください。

▶ お問い合わせ・ご相談は **株式会社 ユニテックス** 〒194-0021 東京都町田市中町2-2-4 ユニテックスビル TEL:(050)3386-1242 FAX:(042)710-4660

<https://www.unitex.co.jp>

NABSHOW[®] 出展概要 3

Where Content Comes to Life

自然で高精細な4K映像を再現

池上通信機

【ブースNo.C4426】
 4K/HD スタジオカメラシステム「UHK-X750」、4K/HD ポータブルカメラシステム「UHK-X700」は、新開発グローバルシャッター対応2/3型CMOSセンサーを採用し、ローリングシャッター方式と比較して歪みやフラッシュバンド

のない自然で高精細な4K映像を再現する。また、「UHK-X750」は、スタジオタイプの筐体ならではの利点である、光軸に近い位置でビューファインダーを配置できるため、取り回しに優れている。

ベースステーション「BSX-100」は、UHK-X750/X700に接続可能な3Uの小型・軽量化を実現したハーフラックサイズのコンパクト



UHK-X750

設計により、中継車や限られたスペースに設置可能なベースステーション。

マルチパーパスカメラ「UHL-F4000」は、高感度4K映像とコン

パクト、軽量、省電力なカメラヘッドを特徴とする、4K/HD 3CMOS 光学ブロック分離型多目的2ピースカメラで、特にヘリコプター搭載用カメラに適している。最大10倍のデジタルズームや4K映像からHD映像を切り出す「HDカットアウト機能」、霧、もや、煙などの環境下でも鮮明な映像が得られる「画像鮮明化機能」、画像のエッジ部分を強調する「画像鮮鋭化機能」など多彩な機能を装備している。

4K/HDマスターモニター「HQLM-3125X」は、LEDバックライトを搭載した新開発の4K UHD31.1型10bit IPS液晶パネルを採用。

Haivision/AVIWEST

【ブースNo.W5205】
 Haivisionは、子会社のAVIWESTと共同で、IPボンディング・トランスミッター、IPビデオルーティング、ライブ配信、エンコーダー、デコーダーなどを出展。Haivisionの低遅延IPビデオ技術とAviwestのモバイル動画投稿ソリューションの放送ワークフローでの活用について、固定およびモバイルネットワークでのライブ放送のコントリビューションを実現する両社の技術・製品の柔軟な組み合わせを提案する。

「PRO460」は、5GのIPボンディング・セルラー・トランスミッター技術による高画質のライブ伝送を実現。

「Haivision Makito X4」は、リアルタイムでHD×4または4Kビデオを低遅延で実現しSRTをサポートするビデオエンコーダー/デコーダーのフラッグシップモデル。

「Haivision Hub」は、Makito X4ビデオエンコーダー/デコーダーをリモート管理、あらゆるネットワーク上でライブ伝送やリモートプロダクションを可能にするクラウド上のマネージドIPビデオ・ルーティングサービス。

デジキャス

デジキャスが取り扱うメーカーの出展内容は以下のとおり。

- ◆ROSS Video
 【ブースNo. N2602】
 「クラウドプロダクションシステム」と「ハイパーコンバインドプロダクションシステム」を展示デモする。
- ◆TAG Video System
 【ブースNo. W3517】

統合制御・監視システムの新製品「MCS」は、IPマルチビューワー「MCM」の監視・制御・データ収集のエンジンとして機能する。

◆G&D
 【ブースNo. N7010】
 新製品「VisionXSシリーズ」は、最大10Gbitの帯域幅を持つイーサネットネットワークに対応し、より高解像度のディスプレイに高画質に表示できる。

小型ヘッドの8Kカメラシステム

アストロデザイン

【ブースNo.C8119】
 出展のテーマは「LIVE×8K」。遠くで起きている出来事をあたかも今、そこにいるかのように感じられる技術。カメラの小型化、映像のIP化、高精細映像技術の深化を追求し、そのような世界を実現する。最新の製品によるライブワークフローを訴求する。

8Kカメラシステムとしては、アストロデザインが開発した小型ヘッドの「AB-4830/AC-4829」を中核に据え、レンズとカメラ制御、複数カメラ映像の調整など、ライブでの8Kカメラシステムを展示する。

カメラ出力映像は、3D LUTを用いた色域・ダイナミックレンジ変換や8Kモニターでの表示のほか、非圧縮およびJPEG XSによるIP化をする。8K映像を利用し

たユースケースや応用事例についても提案する。

4K120pソリューションでは、8K60p/4K120pに対応したSDI-HDMIコンバーター最新機種「IA-1566」、4K120p収録が可能なエクスプレ



IR-7523

スレコーダー「IR-7523」を展示。レコーダーはスロー再生やSMPTE ST 2110入力に対応し、撮影現場やIPワークフローにおいて幅広く活用できる。

このほか、次世代計測器のパネル展示を実施する。

POMFORT^{fn} LiveGrade PRO
ポムフォート ライブグレードプロ

ライブグレードで
オンセット・カラーグレーディング

POMFORT^{fn} Silverstack
ポムフォート シルバースタック

大切な素材管理とカラーの
ワークフローをシンプルに。

TOOLS ON air just: in
ジャスト イン

多チャンネル ベースバンド インジェストシステム

- 多チャンネル同時収録
- 4K / HD対応
- スケジュール収録
- 同期収録
- 各種コーデック
- mxfへの収録
- 追っかけ編集対応
- RS422 VTR制御

TOOLS ON air just: play
ジャスト プレイ

Macで構築する番組自動送出システム

- 4K&HD対応 / サイマル送出 / IPストリーミング
- コーデック・解像度混在に対応
- 自動ルーター制御
- 強力なCGレイヤー/ファイルオーバー対応 / ライブフィードCSV
- XMLプレリストインポート / ルーター制御

プロジェクト共有・管理 編集コラボレーションシステム

STRAWBERRY PROJECTIVE

「Strawberry」は、Avid、Adobe Premiere、Final Cut Proなど、プロフェッショナルビデオ編集環境のネットワーク共有ストレージ上で、独自の仮想抽象化レイヤ技術でプロジェクトとコンテンツ、ユーザーとグループを管理、プロジェクト共有とプロジェクト管理を実現し、より高度な素材データ共有を効率化する編集コラボレーションシステムです。

えいぞうこ

EIZOKO

NAS機能つきアーカイブアライアンス

シナジー「EIZOKO」は、LTOテープへのアーカイブとアーカイブ後のデータ活用を迅速にする機能を備えたアーカイブシステムです。簡易MAM機能を備えたArchware P5 ArchiveをストレージOSに統合し、あらゆるメディアデータをLTOで保管・管理、映像や音声データをプロキシサーバーとともに保管するだけでなく、WordやPDF、予算管理などのExcelデータまでのすべてをLTOにアーカイブし、インテックス管理します。

ファイルベース ワークフロー自動化ツール

ROOTS TECHNOLOGY CONTENTAGENT

- 映像・音声ファイルの自動トランスコード
- ノードベースのGUIで自動化ワークフローを構築
- メタデータ抽出・変更
- QCチェックツールとの連携
- GPU処理によるフレームレート/解像度/IP変換

映像用途に特化した国産NASストレージ

MIDO NAS

ARCHIWARE P5 Archive

アーキウェア・P5アーカイブ

LTO等にデータを長期保管
メディアアセット管理機能搭載

KVM OVER IP システム

High Performance 4K IP KVM

画質劣化なし カラーグレーディングやCG制作に

ADDERLINK INFINITY

世界で最も信頼性とパフォーマンスの高い KVM マトリクス システム。2K までのコストパフォーマンスが高い ALIF-1000/2000 シリーズ。4K に対応した ALIF-4000 シリーズ等、様々なモデルを用意しています。従来のシステムに組込むことも、どのような組合せでも運用可能です。

TIDE
TAC Import, Distribution & Export

タックシステム株式会社IDE事業部
E-mail: info@tacsytem.com

www.tacsytem.com
E-mail: info@tacsytem.com

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-5-1 Tel : 03-3442-2955 Fax : 03-3442-1526

EMPOWERING STORIES EVERYWHERE

NAB
AMPLIFYTM

Insight for the Content Community



NAB **SHOW**[®]
NEW YORK

Media In Action



THE COUNTDOWN STARTS NOW!

NABSHOW[®]
100 Years of Innovation

NAB Show Centennial Celebration

APRIL 16-19, 2023

Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2022

幕張メッセ会場：11.16 水 》》18 金

オンライン会場：11.1 火 》》12.23 金

音響・映像・通信・メディアの垣根を超えた 業界コミュニティが、貴社の参加を待っています

出展申込受付中!

一次申込期限：5月31日(火)

二次申込期限：6月30日(木)



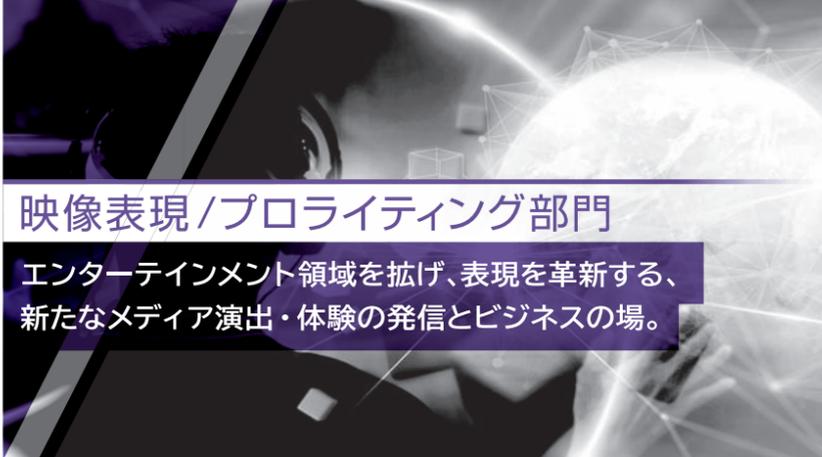
加速するメディアの進化と未来に出会い、体験し、対話する プロフェッショナルが集うメディア総合イベント



プロオーディオ部門
スタジオ・配信・ライブ・施設の音響シーンを進化させる、国内最大のプロユース音響ビジネスイベント。



映像制作/放送関連機材部門
映像と放送プロダクションの新たな進化と潮流を発見する、最大・最先端の提案とビジネスコミュニケーション空間。



映像表現/プロライティング部門
エンターテインメント領域を拓き、表現を革新する、新たなメディア演出・体験の発信とビジネスの場。



ICT/クロスメディア部門
メディアとコミュニケーションのフィールドを拡張・進化、通信とメディアの融合技術の最前線を発信。

各種特別企画



INTER BEE PAVILION
スタジオ・中継・共通基盤(回線センター)／マスター、クラウドも交えて進化するIP技術、企業間の垣根を超えた連携で提案



INTER BEE IGNITION x DCEXPO
コンテンツの拡張は止らない
先進技術とメタバースがアプローチする未来



INTER BEE CONNECTED
放送と通信の融合からその先の未来へ
新しいビジネスとの出会い



INTER BEE EXPERIENCE
高音質の感動を実感できる試聴体験
国内最大規模のスピーカーデモが戻ってくる

オンライン会場を最大限に活用し、 幅広いユーザーを誘致

幕張メッセ会場とオンライン会場のハイブリッド展開の実績と期待に応え、より幅広い層への発信・アプローチの機会として、オンラインを最大限に活用します。



出展に関するご質問や相談など、オンラインミーティングも可能です。お気軽にお問合せください。

運営・お問い合わせ：一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会 (JESA)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル4階
TEL: (03) 6212-5231 E-mail: contact2022@inter-bee.com

    #interbee2022

www.inter-bee.com

NABSHOW
Where Content Comes to Life

出展概要

4

最新技術で効率的なワークフロー

Matrox

【ブースNo. N3118】

『今求められる効率的なワークフローを最先端映像技術で実現』をコンセプトに出展する。主な展示製品は、SRT対応エンコーダー/デコーダー「Monarch EDGE」、ST2110対応IP-SDI or HDMIコンバーター「ConvertIP」、IP KVM「Extio3」など。

「Monarch EDGE」は、リモートプロダクションの需要拡大を受けて、SRT対応エンコーディングデバイスとして採用実績を伸ばしている。会場では、「Monarch EDGE」により機材を最小限に抑えて実現できる、低コスト・低遅延・高品位(4:2:2 10ビッ

ト対応)のリモートプロダクションを訴求する。

新製品「ConvertIP」は、ST 2110からSDIまたはHDMI、SDIまたはHDMIからST 2110に変換するコンバーター。

IP KVM「Extio3」は、4K60pもしくは4面のHD(4:4:4)映像の伝送に対応する。

〔日本正規代理店：ジャパンマテリアル〕



ConvertIP

NETGEAR

【ブースNo. N7310】

NETGEAR(ネットギア)のM4250、M4300、M4500スイッチシリーズは、AV over IP用に特別に設計されている。音響映像配信(AV)市場で進行しているのが、Pro-AV(AV over IP)。LANケーブルとIPで配信できるPro-AVシステムの拡張性や柔軟性の高さを引き出すのに大きく寄与しているのが、「SDVoE(Software Defined Video over Ethernet)」だ。4Kの非圧縮映像のIP伝送なども低遅延で実現する。

ネットギアは、2017年に発足した「SDVoEアライアンス」の立ち上げボードメンバーでもある。

現在45社が加盟しているアライアンスで、同社は唯一のスイッチメーカーとしてSDVoEの普及に貢献している。

製品の特徴の1つが「ITベンダーもAVベンダーも、誰でも簡単に使用できる」ソフトウェア仕様。M4250、M4300、M4500の各シリーズは、映像伝送に必要な設定が事前に施されている。コストをかけて難しいトレーニングや複雑な設定をすることなく、LANケーブルをつなぐだけで、すぐに利用を開始することができる。その中でもM4250シリーズは、従来のスイッチの管理webGUIに加え、IT用語を使用してこなかったAV業界の人でも直感的に操作可能な、AV用のwebGUIも用意している。

アドビ

【ブースNo. N3404、C9520】

ビデオコラボレーションプラットフォームであるFrame.ioを、数百万にのぼるAdobe Creative Cloudメンバーに提供開始し、Adobe After EffectsのM1ネイティブサポートを含むAdobe After EffectsとAdobe Premiere Proの最新バージョンを発表する。

Frame.ioをAdobe Creative Cloudに組み込んだ「Frame.io for Adobe Creative Cloud」を活用す

れば、プロデューサー、代理店、クライアントなどの主要なプロジェクト関係者がクラウド上で映像編集者とシームレスにコラボレーションできるようになる。制作者が最終承認を得るまでのプロセスを、これまでになく迅速かつ容易なものにする。

Adobe Creative Cloudのビデオアプリケーションの最新リリースも実施。映像制作のプロフェッショナルやSNS動画制作者が魅力的な作品を作れるように支援する、数々の新機能とワークフローの改良が施されている。

ソフトウェア定義型IP製品提案

朋栄

【ブースNo. C5408】

朋栄はメインテーマとして「Find Your Next Innovation(次の革新を見つけよう)」を掲げ、IP製品を提案するブース中央の「Software Defined IP Solution」コーナーおよび5つのカテゴリー別展示で製品を披露する。

Software Defined(ソフトウェア定義)はソフトウェアで各種の信号処理をする技術で、朋栄はこれを利用した製品の開発に取り組んでいる。ブースでは、このコンセプトを取り入れた2つの発売予定製品を展示する。

「FA-1616」は、SMPT E ST 2022、ST 2110、12G-SDIを混在利用できるIP/SDIマルチチャンネルシグナルプロセッサ。BBまたはPTPで同期でき、「FA-9600」で培ってきたダイナミックレンジ変換や色域変換を多チャンネルで実現する。ソフトウェア定義処理のため、制作ワークフローに応じて機能をカ

スタマイズできる。

「MFR-3100EX」は、MFRシリーズの堅ろう性を生かしながら、1M/Eスイッチャーやストリーミング配信など機能を強化できるIP対応ルーティングスイッチャー。省スペース化が必要な中継車やコンテンツ配信現場に適する。朋栄として初めてNDIに対応した製品でもある。

そのほかの注目製品として、スローモーションビジュアルライザー「SMV-ONE」は、通常のHDカメラの映像からリアルタイムに



MFR-3100EX

スローモーションを生成する。「MV-3240」は、1RUながら、12G/6G-SDIで16入力、または3G/HD/SD-SDIで32入力できるマルチビューワー。モーションJPEG出力によるライブビューワー機能を装備。

Ikegami

Reach for Reality

感動が見える4Kの世界へ

4K



4K/HD STUDIO CAMERA

4K/HD PORTABLE CAMERA

UHK-X750 / UHK-X700

新開発グローバルシャッター対応 CMOS センサ

HDR・広色域による豊かな映像表現

4Kで2倍速、HDで最大8倍速までのHFR(ハイフレームレート)撮影が可能*

(オプション) ●CCU-X100、BSX-100組み合わせ時

小型・軽量化を実現したハイフラックサイズベースステーション

BSX-100



長距離伝送が可能なカメラコントロールユニット

CCU-X100



UHK-X700
電子カタログ

池上通信機株式会社 〒146-8567 東京都大田区池上5-6-16

www.ikegami.co.jp

お問い合わせは ●放送第1営業部 TEL:03-5748-2201 / TEL:03-5748-2221 ●大阪支店 TEL:06-6389-4466 ●名古屋支店 TEL:052-705-6521 または右記営業所へ ●札幌 TEL:011-231-8218 ●仙台 TEL:022-292-2420 ●福岡 TEL:092-451-2521

NABSHOW[®] 出展概要 5

幅広く使えるコンソールデスク

ニッキャビ

ニッキャビが取り扱う各社が出展。

◆TBC Consoles [ブースNo.C7436]

TBC Consoles社からは、送出マスター、編集、サブなど映像業界において幅広く採用できるコンソールデスク「IntelliTRAC」および「SmartTRAC」が、さらにスタイリッシュになって登場。また、モニターアームの取り付けや豊富なオプション設定が可能で、従来の映像業界だけではなく、セキュリティや証券など多様なシーンで採用されている「ControlTRAC」、「TracWall」も豊富な納入実績を従え展示する。

「IntelliTRAC」は、各モジュールを組み合わせることで、使いやすくハイエンドのパフォーマンスを実現。

◆Plaber s. r. l.

[ブースNo.C4723]

Plaber社製「HPRCレジンケース」は、耐水性、耐塵性・耐衝撃性、耐久性に優れた機能とイタリアならではのデザイン性を備えた樹脂ケース。ホコリ、粉じん、水、衝撃から収納機材をさまざまな条件下にも総合的に保護。過酷なロケーション撮影や携帯用メディカル機器などのキャリング用としても適している。サイズや形状などのバリエーションも豊富で使用条件に合わせて選択できる。



コンソールデスク「IntelliTRAC」

キヤノン

[ブースNo.C4432]

キヤノンは、シネマレンズと4K放送用レンズの新製品、4Kディスプレイの新機能などを披露する。

「FLEX ZOOM LENS」は、シネマスタイル制作における柔軟な運用と多様なニーズに応えるEFシネマレンズの新シリーズ。映画やドラマ、CM制作を主な対象とする。第1弾として、広角ズームレンズ「CN-E20-50mm T2.4 L F/FP」および望遠ズームレンズ「CN-E45-135mm T2.4 L F/FP」をそろえた。いずれもシネマスタイルの操作性を継承し、フルサイズに対応、大口径比T2.4の明るさを実現した。焦点距離は20-50mmおよび45-135mmのため、この2機種で同社「単焦点レンズ」シリーズ6本分の焦点距離レンジをカバーする。8Kカメラに対応する高い光学性能も備えている。同社のフルマニュアル型ズームレンズとして初のフルサイズ製品でもある。

「UHD-DIGISUPER 122 AF」は、4K放送用カメラに対応したフィールドズームレンズとして、同

社で初めてAF機能を搭載した旗艦製品。広角端8.2mmから望遠端1000mmまでをカバーし、4K AFフィールドズームレンズとして業界最高という122倍を実現した。独自の位相差AF技術を既存製品から継承して搭載。ピントが外れた状態からフォーカスを合わせる即応性や、動きの速い被写体に対して高精度にピントを合わせ続ける追従性を備え、自然でなめらかなAFを実現している。

業務用18型4K/HDRディスプレイ「DP-V1830」は、7月上旬に提供する無償ファームウェアおよび有償アップグレードにより、モニタリング時の利便性を向上する。無償ファームウェアでは、パレード表示や、映像内の全画素の色度図表示を追加。信号レベルのバランスや映像全体が想定色域の範囲内にあるか視認しやすい。

有償アップグレードでは、本体背面に搭載する機能拡張用端子から任意の入力映像を出力する「スイッチアウト機能」を追加。スイッチャーを使わずに必要な映像を別ディスプレイに出力できるので、スタジオサブや中継車、撮影現場などで重宝する。

Dolby Laboratories

ドルビーが技術・製品を提供しているブースでデモを実施。

◆ATSC

[ブースNo.W9022]

次世代放送規格「ATSC 3.0 (NextGen TV)」をデモ。一貫したラウドネス、ダイアログの聞きやすさが特徴。NextGen TVの音声機能についての最近の消費者調査結果について報告する。

◆UHD Forum

[ブースNo.W6132]

NGA (次世代音響) をデモする。S-ADMによるメタデータワークフローと番組交換、2021年パリ開催のフレンチ・オープンテニス大会でのライブ中継実験の再現、一般的な放送ワークフロー内でのメタデータへの対応など。

◆Streaming Experience

[ブースNo.W6500]

Dolby Atmos 立体音響と Dolby Vision HDR映像による高画質・高臨場感な作品のOTT配信と対応テレビ・メディアプレイヤーでの再生をデモ。

最先端のソリューションを実演

伊藤忠ケーブルシステム

伊藤忠ケーブルシステムが取り扱うメーカーの出展概要は以下のとおり。

◆IHSE USA

[ブースNo.N6913]

4K/UHD 60pに対応したエクステンダー「Draco ultra 240」とマルチビューワー「MV42」、Tera Flexスイッチを使用したeSportsのためのKVMマトリックスシステムのデモを実演。eスポーツ・アスリートによる迫力あるプレーは生配信も予定。また、昨年傘下となったKVM-TECのKVM over IPソリューションも展示。高性能で遅延の少ないオペレーションを可能にし、今後、「Draco」との統合ソリューションの開発も予定されている。

◆Facilis Technology

[ブースNo.N1225]

4K/UHD 60pをリアルタイムでモニターしながら編集ができる共有ストレージとして国内でも着実にユーザーが増えている「Facilis HUB」に、最新のv.8.1がリリースされた。従来のシン



Draco

クションなど、メディア市場での導入事例を紹介。

◆Ateme

[ブースNo.W3512]

伊藤忠ケーブルシステムと2月に日本国内販売代理店の契約を締結したAtemeは、統合コンテンツ処理ソリューション「Titan File, Pilot Media」、クラウド型コンテンツ集約ソリューション「Titan Edge」、ハイエンド対応配信ソリューション「Titan Live, NEA Live/DVR, Titan Edge, Titan Mux」、次世代配信ソリューション「Titan Live, Titan Mux」、高品質ストリーミングソリューション「Titan Live, NEA Live, NEA CDN」などを出展する。

Titanシリーズ (Titan Live, Titan Fileなど) は、同社が誇るエンコードシステム製品群。高品質な各コンポーネントはソフトウェアで提供されるため、パブリッククラウド上でも構築可能。

NEAシリーズ (NEA Live, NEA DVR, NEA CDNなど) は、Atemeが2020年に買収したAnevia社が有していた配信ネットワークシステム製品群。



Facilis HUB

ルさと安定性はそのままに、市場からのニーズが多いボリューム別やファイル別によるアクセス制限など、セキュリティ性を向上させた新機能をデモする。

1Gbps 1本のネットワークで4台のカメラ映像を伝送 Maevex 6100シリーズ & MonarchEDGE

——— 中継現場とサブスタジオの配線を最小限に ———

Maevex6100 シリーズ



MonarchEDGE



お問合せ先



ジャパンマテリアル株式会社
グラフィックスソリューション事業部

E-mail: sales-IT@j-material.jp

URL: https://www.jmgs.jp/

※記載されている商品名等は各社の商標または登録商標です。

CATV事業や映画興行などを展開するスターキヤット・ケーブルネットワーク(名古屋市中川区以下、スターキヤット)の直営映画館である伏見ミリオン座(名古屋市中区)が、4月19日に移転オープンから3周年を迎えた。伏見ミリオン座は「感動を日常に」をコンセプトに、単館系作品を厳選して上映している映画館。これまでの3年間は、新型コロナウイルスの感染拡大で厳しい状況だったが、スターキヤットが提供する放送、通信サービスと映画館のサブスクサービスセットにした。

スターキヤット・ケーブルが運営「伏見ミリオン座」が3周年 サブスクサービスも提供

内初というメニューを開始。また、SDGs(持続可能な開発目標)に特化した映画祭を開催するなど、新たな試みも実施してきた。

映画館サブスクサービスは、スターキヤットが提供する放送、通信、動画配信サービスと映画館のサブスクサービスをセットにしたメニュー「プレミアムシート」を、2021年7月から開始。実質月額2475円で、伏見ミリオン座と同じく同社が運営するセンチュリーシネマ(名古屋市中区)の映画が鑑賞し放題になる。



3周年を迎えた「伏見ミリオン座」

初代「ミリオン座」は人を越えたことを記念し1950年に開館し、名を命名、1983年に名古屋市人口が100万 朽化のため閉館した。

2005年には、カフェを併設した3スクリーンの「伏見ミリオン座」(旧館)がオープン。19年に現在地に移転し、4スクリーンで営業を開始した。

スターキヤットは「3周年を迎えた伏見ミリオン座では、変わらぬ良質な作品を顧客に届けていくと同時に、映画館をエンターテインメントとして、さまざまな世代に楽しんでもらえる場所にする。今後も地域を盛り上げる一端を担うとともに、愛され続ける映画館として地元を根差していく」としている。

常のコンテンツは1200本の輝度で放映する。さらにHDR(ハイダイナミックレンジ)対応と高色域化で、従来に増して豊かな色彩表現や光の表現ができる。30秒から60秒と従来の2倍になったフレームレートが、より滑らかな動画の表現を可能にしたという。

コンテンツの中で象徴的な存在の『雲の画像』も「ジオ・コスモス」とともに新しくなった。画面上を流れる『雲の画像』は、気象衛星が撮影した画像データを毎日取り込むことで、刻々と変化する地球の姿を実感できる。ベースマップと呼ばれる背景の地球に単一ではなく複数の画像を使い分けられることで、季節ごとの極水や植物の色変化を表現できるようになった。

科学未来館「ジオ・コスモス」

新システムにリニューアル

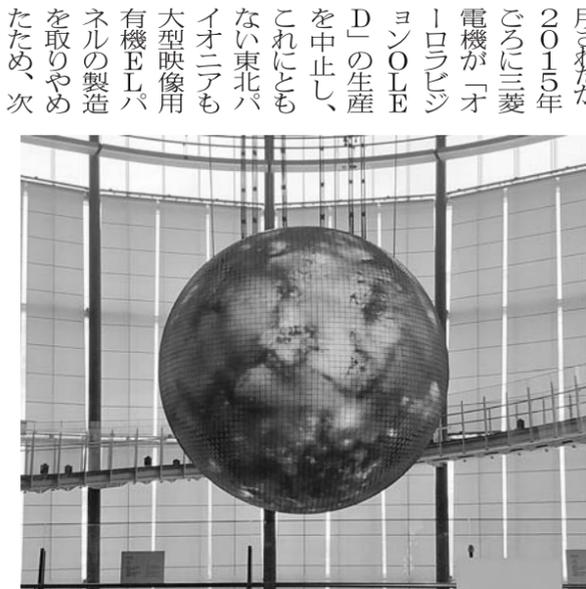
輝度は従来から2倍以上に向上

日本科学未来館(東京都江東区以下、未来館)は20日、昨年10月から約半年間の工事を経てリニューアルされたシンボル展示、球体地球型大型映像「ジオ・コスモス」(直径6.4m、地球の約200万分の1)の一般公開を開始した。それに先立ち19日には、点灯式を報道陣や関係者などを招き開いた。

ジオ・コスモスは、未ともあり全体で100万画素程度のシステムであった。11年には新システムにリニューアルし、当時最モスを世界に向けて発信したい」と話していた。

当時、未来館の館長だった宇宙飛行士の毛利衛氏は「日本製の有機LED大型映像によるジオ・コスモスを世界に向けて発信したい」と話していた。有機LEDパネルの輝度は600cd/m²、有機ELパネルの輝度は300cd/m²、有機ELパネルの輝度は1000cd/m²と、有機ELパネルの製造工程がアップした。そのため、映像度も大幅にアップした。

この2代目の有機LEDシステムは約11年間利用されたが、2015年ごろに三菱電機が「オーロラLED」の生産を中止し、これにともない東北パナソニックも大型映像用有機ELパネルの製造を取りやめたため、映像度も大幅にアップした。



新生ジオ・コスモスのデモ映像

置場所は屋内でも外光が入る明るい場所なので、これまでより明るく鮮やかな映像を見ることができるといいます。(浅川氏)

浅川氏は「このようなデバイスは、常設のものとしては世界中を見渡してもほかになく、唯一無二と言える。新コンテンツは7月ごろに披露したい。今後多彩なコンテンツを上映し、新生ジオ・コスモスを有効活用していきたい」と意欲をみせている。

Ginza Sakuraya

TOTAL AV SOLUTION

ハイクオリティな映像表現に必要な機器のすべてを、
トータルにサポートできる豊富なラインナップと技術力。

それが、プロフェッショナルたちに選ばれる理由。

C

Capturing 撮る

E

Editing つなぐ

S

Showing 見せる

▶▶ 銀座サクラヤのCESコンセプト

映像・音響機器のレンタル・販売

株式会社 銀座サクラヤ

http://www.ginzasakuraya.com

科学未来館が公開開始

「ドームシアター」6年ぶりの新作

「はやぶさ2」技術者らにインタビュー

実写とCGなどで構成する大型映像

日本科学未来館(以下、未来館)では、4月16日から6年ぶりとなる未来館制作のドームシアター新作『INHERIT ～はやぶさ2・宙(そら)への夢と挑戦をのせて』を公開している。

未来館6階のドームシアターは、ウシオライティングが国内販売する米クリスティ・デジタル・システムズ製の4K対応高輝度DLPプロジェクターを導入。プラネタリウム・ドーム上映システムには、コニカミノルタプラネタリウム製のシステムを採用し、ドーム映像が連日上映されている。3D(立体視)にも対応しているが、新作は2D作品になっている。



ドームシアターの内部



新作「INHERIT ～はやぶさ2・宙(そら)への夢と挑戦をのせて」の一場面(日本科学未来館提供)

「INHERIT(イネリット)」継承をテーマに、技術者・研究者へのインタビューとCG、イラストで構成する約30分の大型映像作品を、

を格納する容器の製作にかかわった技術者に、どのような思いで先輩社員から技術を継承し、今回取材した。ミッションを成功へと導いた技術者の「やり遂げると強い気持ち」を

上映スケジュールは、(開始時間)午前10時20分、11時20分、午後2時20分、3時20分の1日4回。休館日は原則として火曜日(火曜日が祝日の場合は開館)と年末年始。鑑賞料は大人310円、18歳以下100円(常設展または特別展入館券とのセット販売のみ)。なお、高崎市少年科学館では3月26日から上映を開始している。

沖縄・宮古島の「宮古空港」

3台の大型LEDが稼働

観光案内情報などを放映

沖縄県で4番目に大きな島である宮古島の「宮古空港」では、2018年11月から空港内3カ所で大型LEDビジョンを設置して広告媒体として運用するほか、観光案内情報などを放映している。地方のローカル空港で、3台もの大型LEDビジョンが稼働するケースは少ない。

運営は宮古空港のターミナルビルなどを管轄する宮古空港ターミナルで、大型LEDビジョンの施工・設置は宮古島市の拠点を置く地元企業の大和電工が担当。宮古空港ターミナルが実証した貨物太陽光発電システムおよび水素ステーションの普及啓発のほか、宮古島の自然環境や地場産業の紹介を目的に設置した。併せて企業広告なども放映している。



宮古空港2階出発ロビー保安検査場前の大型LEDビジョン

映像新聞無料メールマガジン

Vizcom

映像新聞がお届けするメールマガジン「Vizcom」は、ビジネスに役立つ情報をいち早くご提供していきます。映像新聞および、映像新聞ウェブサイトも同様にご愛顧ください。

配信登録は www.eizoshimbun.com

持つ、「若い人と一緒に仕事をしながら教えていくのが基本」といった生の声は作品に反映されている。

監督・演出を手掛けたのは、広告・CMのほか演劇ユニット☆宇宙食堂を主催する新井総氏。監修は宇宙航空研究開発機構

最新のデジタルから、

COLOR GRADING VFX/EDIT/DCP

フィルムログ

FILM SCAN/ARCHIVE

4K時代の総合映像ポストプロダクション

togen

株式会社 東京現像所

www.tokyolab.co.jp

多目的簡易ブース(アナウンス・編集・MA)

あなたのオフィスがスタジオに～

安価 簡易設置 短期で施工

●サイズはフレキシブル(設置場所に対応)
●解体・移設も可能
●遮音性能 Dr40

映像スタジオ施工

MA室 ブース 各種 編集室 注文制作家具

Takahashi Construction Co., Ltd. 高橋建設株式会社

TEL044-853-0547 FAX044-852-1588

http://www.takahashi-kensetsu.co.jp

PJ総合研究所

大型映像年鑑 2022



発行2021年12月26日

販売価格: 8,000円 (税込、送料サービス)

発行&編集: PJ総合研究所

(有) エーブイシー

編集協力: 川田宏之 (フリージャーナリスト)

販売: (有) エーブイシー

版形: A4版、横組

総ページ数: 120ページ、オールカラー

新刊発売

主要記事

- ・ 大型映像LED&LCD、DS、PM、VR、AI などの導入市場拡大と展開
- ・ 得意分野の導入事例/実施システムの特徴をクローズアップ
- ・ 展示会レポート/オンライン&幕張メッセ
- ・ 8K放送化への変遷とこれからの展開を予測

各社PM、DS、LED、VR、AIの得意事業&事例 (対象の企業例)

フォーラムエイト/シンユニティグループ/
シリコンコア・テクノロジー/レイヤードジャ
パン/ウシオライティング/メイコー/富士
フイルム/シャープNECディスプレイソリュ
ーションズ/インターナショナルクリエイティ
ブ/アストロデザイン/ほか

<この他、取材資料にて掲載>

- ・ 映像機器メーカー関連・大型映像関連・PM、VR、AI関連・デジタルサイネージ関連
- ・ ブログ『dendosi』のつづり/音と映像の開発「ヒント」が得られると好評

<資料集>

各社ニュース、pjカタログ、各展示会ニュース

映像新聞のサイトか、FAXにてお申し込み下さい。

www.eizoshimbun.com

FAX 03-3942-2581

お申し込み&お問合せ/映像新聞社 TEL 03-3942-2161 info@eizoshimbun.com 販売・発送/(有)エーブイシー TEL 070-6655-7886

大型映像年鑑2022 購入申込書

必要部数:	部	ご住所:
御社名:		
部署名:		TEL
お名前:		E-mailもしくはFAX

2022年3月 民生用機器主要品目の国内出荷実績

(千台、%)

	3月実績		1月からの累計	
		前年比		前年比
薄型テレビ	492	90.8	1,291	90.9
29型以下	56	72.2	162	82.5
30-39型	121	113.4	291	99.7
40-49型	139	93.0	378	88.3
50型以上	176	84.8	459	91.2
(内)4K対応	252	82.2	663	83.4
(内)ハイブリッドキャスト対応	278	92.5	742	95.1
(内)有機EL	54	100.8	136	98.7
DVDビデオ	19	80.8	56	80.0
BDレコーダー/プレーヤー	151	72.6	411	74.8
レコーダー	110	67.5	304	71.9
プレーヤー	41	90.8	107	84.5
デジタルビデオカメラ (アクションカメラ含む)	26	111.0	55	111.5
BS/CSアンテナ	47	109.1	107	97.2
システムオーディオ	87	93.2	238	102.4
アンプ	5	70.6	13	84.9
スピーカーシステム	73	118.8	220	104.8
ラジオ受信機器	81	79.9	199	77.2
ステレオヘッドホン	486	77.8	1,314	78.9
カーナビゲーションシステム	547	105.2	1,304	92.9
カーAVメインユニット	267	91.5	714	94.7
カーCDプレーヤー	32	54.6	93	62.0
カースピーカー	1,916	79.9	5,270	85.0
ETC車載ユニット	264	82.2	691	85.4
ETC2.0(DSRC)対応車載ユニット	123	98.7	313	91.9

※千台未満は四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合がある

JEITA

22年3月 民生用映像機器の国内出荷数量

薄型TVは49・2万台

前年同月比で9・2%の減少

電子情報技術産業協会(JEITA)は、2022年3月における民生用電子機器の国内出荷実績(速報値)を発表。3月度の出荷金額は125.5億円(前年比95・5%)であった。

分野別では、映像機器は577億円(89・9%)、カッコンは前年同月比、オーディオ関連機器は68億円(104・4%)、カーAVC機器は66.1億円(101・7%)と

49型が28・3%、50型以下が30・39型が24・5%、40型が101・7%と

新4K8K衛星放送対応の累計出荷台数は138・5万台となった。

また出荷金額は薄型テレビの82・0%となった。発売開始からの累計出荷台数は875・0万台となっている。

BD(ブルーレイディスク)レコーダー/プレーヤーは15・1万台(72・6%)であった。

新4K8K衛星放送対応レコーダーの出荷台数は2・5万台、出荷金額は19億円。発売開始からの累計出荷台数は138・5万台となった。

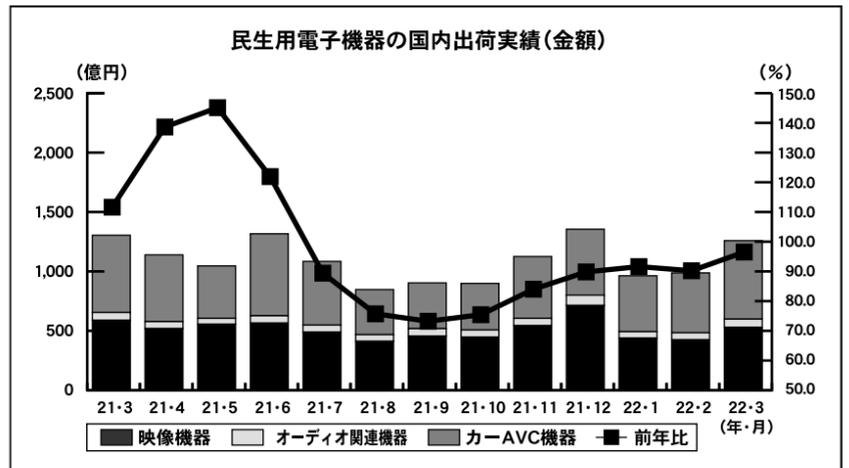
また出荷金額は薄型テレビの82・0%となった。発売開始からの累計出荷台数は875・0万台となっている。

BD(ブルーレイディスク)レコーダー/プレーヤーは15・1万台(72・6%)であった。

新4K8K衛星放送対応レコーダーの出荷台数は2・5万台、出荷金額は19億円。発売開始からの累計出荷台数は138・5万台となった。

上が35・8%となつて、4K対応テレビは25・2万台(82・2%)で、薄型テレビに占める割合は51・1%であった。4K対応テレビの出荷金額は337億円、薄型テレビの出荷金額は421億円に占める割合は80・1%であった。

新4K8K衛星放送対応レコーダーの出荷台数は2・5万台、出荷金額は19億円。発売開始からの累計出荷台数は138・5万台となった。



SAN-EI TV

”人と技術”で新しい価値を創造する

放送設備
シネマ
メディカル

Technology Creative

SAN Vision AVENUE
デジタルサイネージ
大型映像

設計・施工・調整・保守のワンストップサービス
サンエイテレビ株式会社
<http://www.sanei-tv.co.jp/>

Our New Chapter Continues

世界中で生み出される物語を
ありとあらゆるメディアを通じて視聴者にお届けする。
わたしたちの挑戦は新しいステージへ。

IMAGICAエンタテインメントメディアサービス search
www.imagica-ems.co.jp

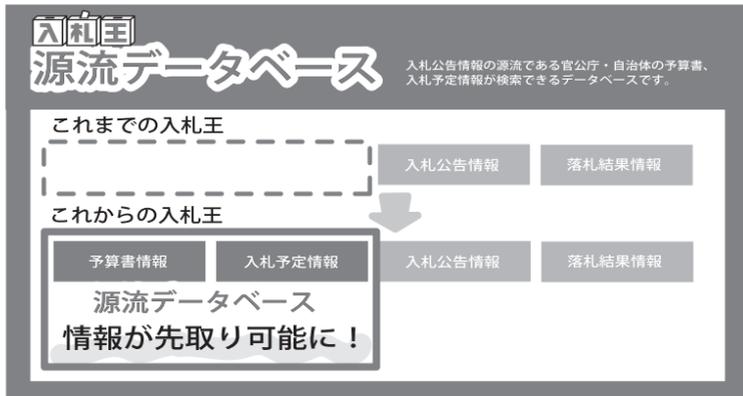
IMAGICA
ENTERTAINMENT MEDIA
株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス

映像入札王のご案内



映像新聞社では、株式会社ズノーと業務提携し、同社の展開する入札情報提供サービスと連携した「映像入札王」を提供いたします。

入札王に国内唯一の新サービス登場！ 源流データベース「予算書・予定情報」で入札を先取り！

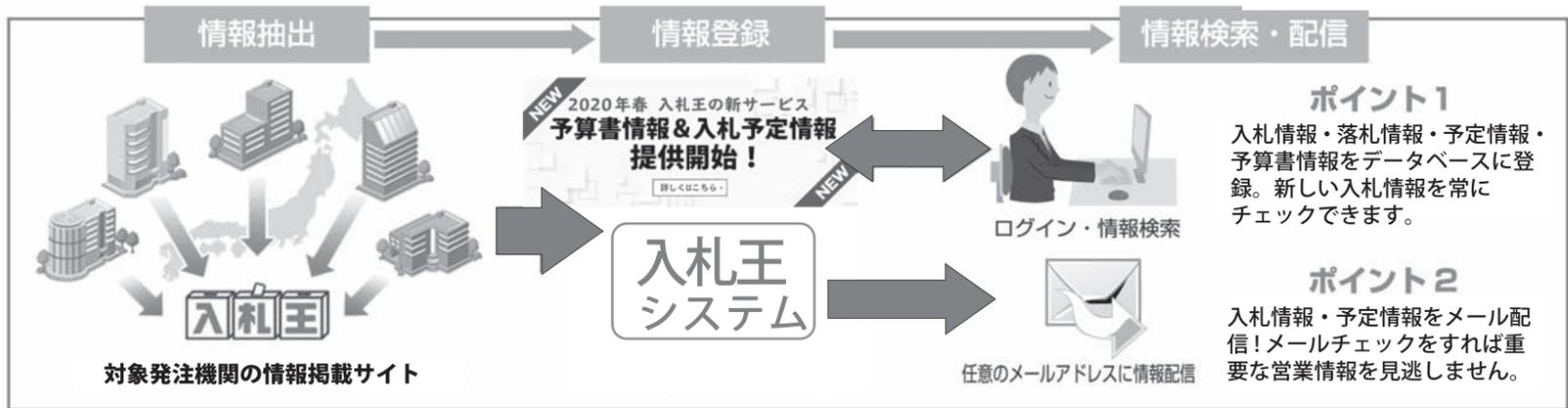


映像入札王とは？

中央省庁、独立行政法人、地方自治体等の入札情報・落札情報・予定情報・予算書情報を提供するサービスです。
映像制作・関連機器、ホームページ制作、広告制作、情報処理、調査等あらゆる分野の最新の入札情報を毎日ご提供します。

その 特長は

- 1 業界最大級の網羅性**
・全国の発注機関 (入札情報 7,500 機関以上) を網羅。
- 2 横断的、一括した情報を抽出**
・統一データベースを構築、類似団体の情報も横断的に抽出
- 3 多様な検索機能を準備**
・発注機関別 (中央省庁、自治体別、独立行政法人別)
・都道府県別、人口規模別、業種別
・会計区分別 (一般、特別)、予算区分別 (当初、補正)
・キーワード (フリーワード) 等



● 『映像新聞』購読の方は、下記料金から5%引き ●
● サービス利用料金 (入札・落札情報サービス) ● (税込)

**10日間お試し
無料トライアル実施中**

トライアル期間で入札王の
効果を実感してください

<http://www.eizoshimbun.com>

上記 URL からのエントリーで割引適用となります

発注地域の選択	契約期間 6ヶ月	契約期間 12ヶ月		
3 都道府県	¥77,000	¥143,000	25 都道府県	¥303,600
4 都道府県	¥110,000	¥198,000	26 都道府県	¥308,000
5 都道府県	¥132,000	¥242,000	27 都道府県	¥312,400
6 都道府県	¥154,000	¥286,000	28 都道府県	¥316,800
7 都道府県	¥176,000	¥330,000	29 都道府県	¥321,200
8 都道府県	¥198,000	¥374,000	30 都道府県	¥325,600
9 都道府県	¥220,000	¥418,000	31 都道府県	¥328,900
10 都道府県	¥226,600	¥429,000	32 都道府県	¥332,200
11 都道府県	¥233,200	¥440,000	33 都道府県	¥335,500
12 都道府県	¥239,800	¥451,000	34 都道府県	¥338,800
13 都道府県	¥246,400	¥462,000	35 都道府県	¥342,100
14 都道府県	¥253,000	¥473,000	36 都道府県	¥345,400
15 都道府県	¥259,600	¥484,000	37 都道府県	¥348,700
16 都道府県	¥264,000	¥490,600	38 都道府県	¥352,000
17 都道府県	¥268,400	¥497,200	39 都道府県	¥355,300
18 都道府県	¥272,800	¥503,800	40 都道府県	¥358,600
19 都道府県	¥277,200	¥510,400	41 都道府県	¥361,900
20 都道府県	¥281,600	¥517,000	42 都道府県	¥365,200
21 都道府県	¥286,000	¥523,600	43 都道府県	¥368,500
22 都道府県	¥290,400	¥530,200	44 都道府県	¥371,800
23 都道府県	¥294,800	¥536,800	45 都道府県	¥375,100
24 都道府県	¥299,200	¥543,400	46 都道府県	¥378,400
			47 都道府県	¥385,000
				¥550,000
				¥556,600
				¥563,200
				¥569,800
				¥576,400
				¥583,000
				¥587,400
				¥591,800
				¥596,200
				¥600,600
				¥605,000
				¥609,400
				¥613,800
				¥618,200
				¥622,600
				¥627,000
				¥630,300
				¥633,600
				¥636,900
				¥640,200
				¥643,500
				¥646,800
				¥660,000

● お問い合わせはこちらへ。

デジタルサイネージアワード 2022年度の作品募集開始 「未来先取り部門」を特設

開催するにあたり、デジタルサイネージ作品の募集を開始した。応募期間は5月13日まで。14回目を迎える同イベントは、優秀な作品を選出・表彰することで、デジタルサイネージ市場のさらなる活性化を目指すもの。

NGCがオンラインセミナー 映像セキュリティ対策 コンテンツ管理の重要性学ぶ

エヌジーシー(NGC)は、オンラインセミナー「映像セキュリティ対策」を4月28日(金)に開催する。このセミナーは、映像セキュリティ対策の重要性について、最新の技術や事例を交えて解説する。参加費は無料(事前登録制)。映像制作がヒテオナーは、次のいずれかを選択する。

「部門」オフィス、DOH(デジタル屋敷広告)、エンターテインメント、広告/クリエイティブ、UX(ユーザー体験)/インタラクティブ、ホスピアリティ/ソーシャルイベント、飲食/リテール、交通、屋外大型ビジョン。また、今年度は「未来先取り部門」を特設した。審査会で審査の上、応募作品の中からグランプリ(1作品)と優秀作品10点ほどを選定・表彰する。表彰式は、6月15日(日)に「デジタルサイネージジャパン2022」の会場(幕張メッセ)で開催予定。審査は、デジタルサイネージコンソーシアムの中村伊知哉理事長を審査員長とする審査会で実施する。

「映像新聞」追加送付サービス
定期ご購読者のリモートワーク先へ
無料でお送りいたします
お申し込み = www.eizoshimbun.com 映像新聞社

国立映画アーカイブ 所蔵コレクションから 多彩な映画の上映企画

国立映画アーカイブは、今回厳選した劇映画・ドキュメンタリーなど9プログラム(計15本)を5月6-22日(金・土・日曜日のみ)に開く。昨年度からスタートした「野球プログラム」では、戦前・戦後に活躍した名選手たちの貴重な映像がそろそろ。『野球の妙多様な映画を公開する企画』(1939年)は、

スタルヒンや景浦将、刈田久徳など戦前に活躍した名選手たちの妙技を撮影。日本初のプロ野球チーム「日本運動協会」(1920-24年)の設立者である河野安通志氏が技能解説を担当した。戦後に製作された『野球教室』シリーズ4作品(1948-49年)では、山本一人(鶴岡一人)や若林忠志など南海ホークスと阪神タイガースの名選手を中心に、その技を高速撮影なども用いて解説。日本のプロ野球の歴史の一端を見ることが出来る貴重な映像資料になっている。

そのほかの上映作品は以下のとおり。
▽『なつかしの顔』(1941年、監督・成瀬巳喜男監督)▽『熱情の翼』(40年、小石栄一監督)▽『日本産業地理大系第一篇 国立公園伊勢いせ志摩』(49年、本多猪四郎監督)▽『南国の肌』(52年、本多猪四郎監督)▽『妻と女記者 若い愛の危機』(50年、千葉泰樹監督)▽『江戸の花』(50年、松竹屋監督)▽『静岡県浜松市北區細江町中川8』(50年、河野壽一監督)▽『非情都市』(60年、鈴木英夫監督)▽『水の八月』(97年、高橋陽一郎監督)▽『元始』(97年、羽田澄子監督)▽『こぼろぎ嬢』(07年、松本史也監督)

事業所統合

ATVは、4月末日をもって、東京事業所を浜松本所に統合する。東京事業所の業務を本社が引き継ぎ一元化を図ることになり、より一層充実したサービスを提供を目指す。代表取締役社長 室井誠▽取締役 内山美貴、松雪宏隆(新任)、松下忠(同)

人事

【ウェブサイト】(会社概要および製品情報) www.eizoshimbun.com
【ATV】(3月25日の定時株主総会で選任)

郵便法改正に伴い、日本郵便では2021年10月以降、郵便物の土曜日配達を休止し、また段階的にお届け日数を1日程度繰り下げることを発表しています。このため、「映像新聞」が読者様のお手元に届くまでにお時間がかかる場合がございます。ご不便とご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。なお、弊社提携業者による都内の一部配達エリア内であれば、従来どおりのお届けになります。

「映像新聞」の郵送購読お届け日数についてのお知らせ(映像新聞社)
郵便法改正に伴い、日本郵便では2021年10月以降、郵便物の土曜日配達を休止し、また段階的にお届け日数を1日程度繰り下げることを発表しています。このため、「映像新聞」が読者様のお手元に届くまでにお時間がかかる場合がございます。ご不便とご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。なお、弊社提携業者による都内の一部配達エリア内であれば、従来どおりのお届けになります。

「情報」がビジネスを熱くする。

映像新聞は、放送やブロードバンド、デジタルコンテンツプロダクション、映像制作者など映像業界向け、ビジネスとテクノロジーの両視点で情報を発信している専門紙です。映像のデジタル化は、デジタル放送やデジタルシネマといった新しい文化を創り、ブロードバンドにより新しいコミュニケーションを発達させました。映像新聞は、これらの動きをいち早く伝え、新鮮な情報をお届けいたします。ビジネスを熱くするメディア……それが「映像新聞」です。

映像新聞

毎週月曜日、月4回発行(年間48回発行)
基本ページ数
16-20ページ/タブロイド判

年間購読料: **28,600円** (税・送料込み)

海外での購読の場合は、消費税分を除いた料金に別途送料がかかります。詳しくはお問い合わせ下さい。

ウェブサイトからもお申し込みいただけます

www.eizoshimbun.com

短期購読および複数購読のご案内

●短期購読の場合

- ◎3カ月購読の場合: 7,920円(1部660円×12回)
- ◎6カ月購読の場合: 14,400円(1部×24回)

●複数購読の場合(年間購読契約のみ)

対象となる購読者(以下の3つの条件をすべて満たすこと)

- ◎送付先が同一であること
 - ◎請求先が同一であること(送付先とは別でも可)
 - ◎購読契約期間(契約更新月)が同一であること
- ※料金(申し込み部数により料金を割引きます)
- ・2-5部は**10%**引き (1部、年間25,740円)
 - ・6-9部は**20%**引き (1部、年間22,880円)
 - ・10部以上は**30%**引き(1部、年間20,020円)

※2021年4月1日からの「総額表示義務化」によりすべての価格は税込みになっています

SONY

クラウドがもたらす革新的ワークフロー

C3 Portalが映像素材の伝送・プレビュー・共有フローの常識を変える。



スマートフォン経由でクラウドへ自動転送

収録中素材の追っかけ転送 & プレビュー

クラウドならではのメディア共有フロー

素材伝送は、ストリーミング、ファイル転送に両対応。用途に合わせて伝送方法を選択できます。カメラからスマートフォンへのファイル転送は即座に完了。撮影後や移動中にカメラから取り外し、スマートフォン単体でプレビューやアップロードを継続できるため、大幅な効率化を実現します。

カメラ連携クラウドサービス

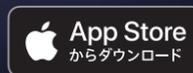
C3 Portal

サービス利用料 75,000円~/月(税抜)

C3 PortalのWebサイトはこちら



専用アプリ「C3 Portal App」はお手持ちのスマートフォンにてご利用いただけます。



ソニーのプロフェッショナル/業務用映像制作機材の情報は sony.jp/pro-cc/

広告掲載商品に関するお問い合わせは [フリーダイヤル] 0120-580-730

受付時間: 9:00~18:00 (土・日・祝日・弊社休業日は除く)

©「ソニー」および「SONY」、ならびにソニーの商品名、サービス名およびロゴマークは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。©本文中にTM、®マークは明記していません。©商品を安全に使うため使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。©掲載商品の仕様や外観は改良のため予告なく変更することがあります。

Sony Marketing Inc. ソニーマーケティング株式会社